壬生町政だより

36年 9月号

No. 33
毎月1回発行
発行所 栃木県壬生町役場
印刷所 株式会社 新生社

諸統計より

農機具 1960年世界農林業センサスより

名称	個人所有	共有
動力脱穀機	72台	1台
発動機	846	25
動力噴霧機	1,467	21
動力散粉機	1,071	28
動力刈取機	760	121
動力噴霧機	16	1

町営住宅の着工

五ヵ年間で九二戸

美六住宅団地の造成

五ヵ年間で百戸の御勞着住宅を建てたいと小田頃町長は昨年から言明しておりましたが、建設省と国庫補助の了解がついたので昭和36年度当初予算にその費用が計上されました。

住宅難は都会に限らず農村地帯にもあります。まして工業都市へ発展すべき政策が着々、実を結びつつある現在、町営住宅の建設は時日にかかったものと期待されます。

町営住宅の団地造成今度住宅団地として造成される位置は内43番地の旧壬生北小学校跡町有地ですが、百戸近い団地としては最適の場所でしょう。

五ヵ年計画のあらまし

五ヵ年間に第二種住宅（木造二〇・五坪）を三六戸、第一種住宅（ブロック建九坪）を五六戸建てる予定です。

（ブロック建九坪）を五六戸建設する訳になります。

本年度の計画

❶第二種住宅八戸＝木造瓦葺、スレート瓦一戸の坪数は二〇・五坪。内訳は四畳半二間、洋間、便所、台所、物置兼風呂場。

❷第一種住宅二戸＝ブロック建九坪。内訳は四畳半二間、台所、便所、物置兼風呂場。

町営住宅の財源

町営住宅の財源としては国庫補助と起債で七二七万二千円を要する訳です。

❶第一種住宅＝建設費の二分の一国庫補助一三四万二千円

❷第二種住宅＝建設費の三分の一国庫補助一九三万円

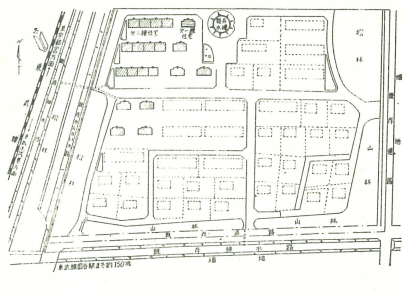
❸起債…三百万円

参考に人員者の資格等を記してみますと、

❶第一種＝月収一六、〇〇〇円から三二、〇〇〇円までの人で、一人以上の同居者のある人

❷第二種＝一六、〇〇〇円以下の人で家賃の支払能力のある人となっております。

九月十一日に町営住宅の入札を行いましたが第一種住宅は石郷町の神山商店が三五〇万円で落札、第二種は斎藤士建で五一五万円で落札し九月二十日から工事着手の見込みで三ヵ月間で仕上げる予定です。



北小学校の建設

十二学級で十二教室

統合第二番目の成果

昭和三十六年度の重点政策として掲げられた北小学校の統合建設はいよいよ着手されることになりました。

北小学校の統合建設

昨年度東小学校の統合建設により統合の新校舎が国分寺台原に完成しました。

統合第二番目として犬飼小学校と同北小学校の統合が成立し名称は「北小学校」となります。

学校敷地は子鹿岡の中間、北小林学上原二九一番地の山林で、現在の北小学校の敷地は四五〇〇坪です。敷地はすでに立木は伐採整地されています。

今度建設される学校は土・教室のほか管理室・職員室・校長室、宿直室、救護室、放送室と特別教室＝図画室の各種教室です。

木造スレート瓦・モルタル塗りの平屋一棟を含めて四五一坪となります。

入札は月十一日行なわれ請負金額一、七二〇万円で佐藤工業株式会社が落札しました。工事は九月二十日頃から始まり来年二月末に完成の予定です。

財源は❶国庫補助四六五万二千円❷自己財源九一四万円❸起債三五〇万円❹地方債七百円❷起債三五〇万円

写真＝北小の起工式

基本選挙人名簿の調製

九月から十月末にかけて、各市区町村の選管理委員会では、基本選挙人名簿の調製が行なわれています。

この調製は十月三十一日までに完了し、十一月には区町村の役場等で縦覧することになっています。国家公地方公共団体の一員としての基本的な権利です。

お知らせ

各校の運動会

天高く大気も澄んで、秋は運動会の季節となります。

管内小中学校の運動会日程は左の通り。

九月二十日＝東小学校

〃 二十一日＝安塚小学校

〃 二十六日＝稲葉中学校

〃 二十八日＝壬生中、犬飼中

〃 三十日＝稲葉小学校

十月 三日＝羽生田小学校

〃 五日＝勝井小学校

〃 六日＝壬生小学校

〃 十三日＝北小学校

十月の天気

秋晴の天気が多い見込ですが、四一日位の周期で、一時的にくずれることがあります。

台風の影響が考えられるのは、上旬に一回程度、気温はやや高く、降水量はやや少ない見込です。

消防に新威力

稲葉十分団

腐蝕になっていた消防車置場が、稲葉支所構内に完成しました。

サンタンジュニアー、二三馬力の新鋭車の引渡し式を八月三十日役場本庁で行いました。

消防連合会長近代化の方針にそって稲葉地区に設置したものです。

【写真】＝消防長から新鋭車の引渡しを受ける10分団

推肥盤の設置費補助

昨年は自給肥料の増産と金肥の節約を図る目的で推肥盤を設置したものに対し一基五〇〇円の補助金を交付します。

推肥盤の大きさは一〇坪万米（約三坪）以上のもので本年度は三〇基を対象にしています。

詳しいことは役場経済課または各支所の経済係に問合せください。

十月は国民年金の納入月です

（注）保険料は年度をすぎると年金手帳（印紙）で納めることができない制度になっています。

滞納になった保険料の収納は、めんどうになりお互いが迷惑いたしますから一寸と注意を

自衛官の募集要項

○応募資格 昭和18年11月2日生れ男子、中学校卒業程度

○募集員数 九月一日＝十月三十日

○試験期間 九月一日＝十一月六日

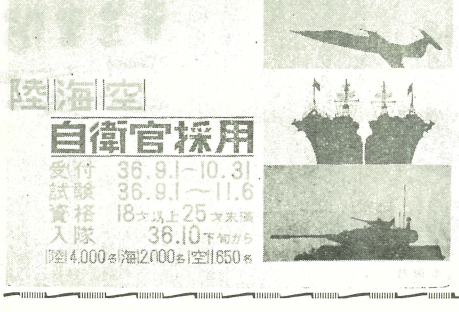
○採用予定出期 三六年十一月上三十七年一月まで

○詳細な点は総務課、各支所長にお問合せください。

▽…現在、トマトが続々出荷されています…といっても信じられないかも知れませんが、七月の末から共選されて東京築地市場に十月中頃まで出荷されています。

▽…これは南犬飼国営組合（組合長高川英雄）で、国谷、落合原の組合員五人名がガッチリ手を組んで、トマトの抑制栽培に乗り出したものです。

▽…同組合ではトマトのほか白菜、里芋、しょうが、みつば等各部に分かれて出荷しております。集荷所を各部組合員が負担して建設し、経営改善の一石右に励んでおります。



さあ!!あたたかい心を赤い羽根に

秋風とともに共同募金の月、十月がおとずれます。

県民みなさんのたすけあいの心を寒期金にあらわすうるわしいの運動は、今年で十五年を迎えました。

寒期金は次のように活かされます。

▽孔児院＝捨てられた親の死にな児を育てるとのことできないが母やが育てます。

（一ヵ所＝五〇千円）

▽救護施設＝みなし児や家庭にめぐまれない不幸な子供を育て、学校教育を受けさせます

（七ヵ所＝九四〇千円）

▽精神薄弱児施設＝三ヵ所六百

▽救護施設＝（一ヵ所＝一〇〇千円）

▽養老院＝（一ヵ所＝三三〇千円）

▽母子寮＝（三ヵ所四＝五千円）

▽更生保護＝（三ヵ所＝八〇千円）

▽地区社会福祉事業（六三ヵ団体、七＝九八〇千円）

▽保育所＝（一七ヵ所＝一二五千円）

▽その他の社会事業＝里子の衣料代や授産場（四ヵ所）・母子保育所（二百ヵ所）に配分されます。

農休日の効果は大きい

まとまった中泉部落

七ツ石の各部落が農休日を設けて、好評を受けていますが、今度中泉部落でも部落総会を開いて、全会一致で九月から「農休日」を決定しました。決定した「農休日」は毎月四日（六・七月は除く）で、三月と四月は月二回です。

農休日の施物としては、婦人会の踊り練習、囲碁、将棋、五目並べ、卓球、盆栽、展示、虫の声を聞く会、話を楽しむ会等々サラリーマンの休日は当り前、商店でも最近は月一回の定休日があります。

農家休日が叫ばれながら、なかなか実現しない現在、ぜひ決めた農休日は守りたいものです。また農繁期にと休日が必要なことを再認識いたしましょう。

踊りの練習

農休日に集まって

結核予防に定期診断を

戦前、戦後猛威をふるった結核は、死に率もトップから第八位にさがり、だんだん結核が私たちのまわりから締め出されていくことは、一般に結核予防計画が高まっていることが大きな力になっております。

現在、国民の健康状態は、まだまだ高い水準にあるとは言えません。

結核は早くみつけて正しい治療というのが鉄則で、今後とも医療が遅少しても要らないでしょう。

現在、国民二百万人もの患者がいる現在、この悲しい犠牲をなんとか一日も早くなくしたいものです。

ぞくぞく老人クラブ

郡下一の結成数

九月は「としよりの日」です。毎月の敬老会は九月二十九日に行なわれます。

上田市生活の中の、ゆるぎない生活環境や、家族の考え方の相違で老人が狭いほっちに追い込まれ、また老人の福祉対策も積極的にとりあげられてきております。

壬生町では未だ25のクラブができ七二四名が加入しており、下都賀郡でも断然一番の結成率を示しております。

クラブには県知事から記念品が贈られます。

敬老会

上通町

結成された老人クラブ

上田老人クラブ（代表田熊定治）52名、中泉老人クラブ（代表田井紀直一）50名、助谷老人クラブ（代表金田直吉）27名、緑老人クラブ＝台井（代表星野八三郎）16名、梨郷＝上通町（代表大橋文吉）31名、御田長寿会＝新町（代表木村芽夫）31名、下馬木老人クラブ（代表酸漿功左治）30名、西高野老人クラブ（代表佐藤定治）21名、金室町老人クラブ（代表田中長治）13名、安塚（二）老人クラブ（代表高田雅一）37名、国谷老人クラブ（代表田中清十郎）35名、舟町老人クラブ（代表大久保金蔵）15名、栄町老人クラブ（代表石坂惣松）14名、明城南坪（代表高田佐左衛門）10名、国谷東田老人クラブ（代表高田喜四郎）15名、羽生田部老人クラブ（代表高田鶴吉）6名、羽生田部老人クラブ（代表高田伝三郎）44名、高野谷老人クラブ＝田中（代表白石春吉）21名、旭町老人クラブ（代表白石鶴常次郎）26名、拓士老人クラブ（代表小島明次）8名、安塚（二）老人クラブ（代表鈴木重男）71名、城内老人クラブ（代表佐藤亀七）31名、城南老人クラブ（代表高田熊吉）22名、大麦町老人クラブ（代表石井武一）22名、安塚（一）17名、三所町老人クラブ（代表中田源太郎）

九十才以上が十二名

壬生町の長者番付

九月は「としよりの月」です。壬生町平御の老者は月二十九日に、中央会館で行なわれます。

木町の七十才以上のおとしよりは、一、〇七二名で、そのうち九十才以上の方は十二名です。

その長者番付は

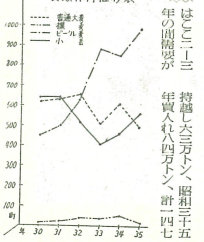
❶山崎豊三郎96才、仲通町❷三浦平次95才、万町❸福田ヨサ95才、安塚❹新木キヨ93才、城内❺大高キヲ92才、上宿町❻青木ヌノ92才、七ツ石❼日名キチ91才、羽生田❽早乙女キサ91才、七ツ石❾鈴木チヨ90才、原宿❿和田郎90才、安塚⓫日田サダ90才、台坪

大麦、裸麦の転換必至

ビール麦、小麦の増反

大麦、裸麦はここ二三年の間需要が急激に減退しております。

これは国民の食生活が動物蛋白質や乳成品等で補助されたためです。



今まで大麦、裸麦の年間需要は持越し六三万トン、昭和三十五年に一四〇万トン程度あり ましたが昭和三十三年から年々三〇万トン〔四〇万俵〕以上の需減となり、昨年は七〇万トンと激減しました。

これに反して「ビール麦」は、毎年一〇パーセントからの伸びを示しています。

政府予持高は昭和三十四年から年々三〇万トン以上になっております。

これからの麦作周囲は

❶大麦、裸麦の転換作物としてビール麦、小麦、飼料作物、そ菜、菜種

❷ビール麦は増反が期待され、特産地の形成をはかりたい

❸小麦は優良種子の配布に努める

省力栽培を行うこと

産米の改善で収入の増加を

まずい米はさらわれる…これは消費地における、いつわらない消費者の声です。

生産者の私たちとしてはどんなふうに今年の産米を処理するかなえられるように教育、職業訓練、職業斡旋をしたり、農業施設に工場を誘致したり、社会保障もやすことにしています。そうして農業のやり方や仕組を近代化するとと農産造改善によんでいますがこの事業がうまく行くためには、総合的に行って、はじめて効果があるので、そのような指導や助成援助を行なうことにしています。また農業と林業を兼ねる経営している場合には林業も含まれます。

次に、「農業基本法」を力づよく進めていくため、国や県市町村は仕事をやりやすく、能率よくやれるように協力して組織をつくり農業団体と力を合せて進むことになっています。

農業基本法とは　最終回

最終回として、農業のやり方や仕組、行政機構と農業団体の役割などについてのべることにします。

くじ、分散している農地を集団化したり、交換分合したりして（地域によって具体的な方法は異なりますが）そこへ家畜の導入や、機械化などをすすめることになります。

国が農業経営の中で、育成しようとする経営は、農業収入だけで家計をまかなうことができる経営で、家族が中心になって行なわれるようにし、自家家族経営ができるだけ多くなるように育成しようとしています。

また経営規模が小さくて増大の条件に恵まれていない農家は共同して農業を営み、生産性を高め、営農の能率をよくし、所得の増加を図っていけるような農業者の自主的経営を尊重し、援助することになっています。

そのほか、農地の選定として効率分配され、細分化されるのは好ましくないので、なるべく農業に残ってやろうとする人に引き継がれるようにしようとしています。また一定の期限をつけて農地を農協にあずけたり、売買についても信託できるような制度も考えられています。

近代的な農業経営をやるのにふさわしい優秀な人がのこるようにするため教育や研究に力をそそげようとしています。一方農業には入れようとする人や、兼業農業として農産物の増加を図っていけるような農業者の自主的経営を尊重し、援助することになっています。

農休日の効果は大きい

農業基本法とは

産米の改善で収入の増加を

月例LPコンサート

十月七日（土）午後七時
中央会館
一、世界民謡集
二、バアイオリン協奏曲
　　メンデルスゾーン作曲
三、リクエスト曲

求人募集

あけぼのパン株式会社＝自動車
男、女
▽賃金　中卒で二十五才までの
▽給与　日給三百円
▽就業場所　東京都世田谷区
　　築地二寿ほか
▽寮費と食費で三、〇〇〇円
▽寮舎　パン製造
▽申込　日曜祭祭都木商商試験場へ

月例LPコンサート

求人募集

縄文時代と貝塚時代

資料一四

縄文時代には、利器（はものとして石を造った道具を使っていたので、背道は石器時代といっている）その石器なども、縄文土器の破片に混じって出て来る。

縄文土器の破片は、素焼（すやき）の土管の破片に似ている。

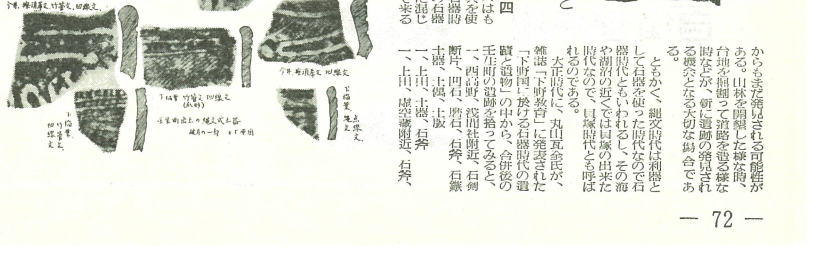
久、昭和三年、東京帝大で出版した「日本石器時代地名表」には、右の三ヵ所が丸山氏の報告として載られているだけである。

ところが、現在では更にその他の遺跡が次の様に数ヵ所発見されている。

一、下馬木、石斧、石鏃、土器

一、上田、石斧、石鏃、土器

一、上田、廃墟遺跡近、石斧、



からはまだ発掘される可能性がある。山林を開墾して道路を造る様な時なら、山林を開墾して道路を造る様な時なら、斧に遺跡の発見される機会となる大切な場合である。

とさかく、縄文時代には利器として石器を使った時代なので石器時代ともいわれる。その海や湖の近くでは貝塚が出来たので貝塚時代とも呼ばれるのである。

太古時代に、丸山瓦金氏が、雑誌「下野新聞」に発表された「下野国に於ける石器時代の遺蹟（遺物）の研究」の中から、合併後の壬生町の遺跡を拾ってみると、

一、西高野、淺間社附近、石剣

一、下稲葉、鹿島、石斧、石鏃

一、上田、廃墟遺跡近、石斧、

一、福和田、宿の北方の畑地、多数の土器片、石皿、石斧、石鏃など

一、中泉、北小北分校の南方の畑地、石斧、土器片など

一、下稲葉、笠女洲の火の口の畑地、土器片、石斧、磨石、同石など（高橋一郎）